

「JAしおのや塩谷花卉部会知事表敬訪問」について

令和5(2023)年7月3日

農政部生産振興課

1 目的

JAしおのや塩谷花卉部会が生産する花き（スプレーマム、輪菊、りんどう）をPRする。

2 日時

令和5年7月4日（火）	農政部長室	11:00～11:10
	知事応接室	11:30～11:45

3 訪問者（予定）

JAしおのや塩谷花卉部会	部会長	さいとう 齋藤	としはる 利治
〃	副部会長	しろた 代田	ひろひさ 裕久
〃	会 計	すずき 鈴木	かづひろ 一裕
〃	スプレーマム研究会長	よしなり 吉成	しんや 信哉
〃	菊研究会長	たかはし 高橋	つよし 剛史
塩野谷農業協同組合 代表理事組合長		あらい 荒井	ひでただ 秀忠
〃 塩谷地区営農生活センター営農課		さいとう 齋藤	たかのり 貴則
		計	7名

同行者

塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 主査 杉山 直美

4 内容

- (1) 花束の贈呈（スプレーマム、りんどう「るりおとめ」混合の花束）
- (2) 産地の情勢報告

5 産地の概要

別紙のとおり

6 連絡先

塩野谷農業協同組合 塩谷地区営農生活センター 齋藤 貴則

0287-45-1311又は080-9509-2234

JAしおのや塩谷花卉部会の概要

令和5(2023)年7月3日

農政部生産振興課

1 花卉部会の概要

- (1) 設立：昭和33年(今年で66年目)
- (2) 部会員数：34名
- (3) 栽培面積：11.6ha(前年より10a減)
- (4) 販売金額：5.3億円(令和4年、前年比；出荷量98%、販売金額107%)
- (5) 主要品目の生産販売状況

	スプレーマム ^{※1}	輪菊(小菊)	りんどう	合計
栽培者数(名)	21	13	8	42 ^{※2}
栽培面積(ha)	8.8	2.4	0.4	11.6
販売実績(R4)	50,600万円	2,500万円	160万円	53,260万円
出荷時期	周年		6~7月	—

※1 スプレーマムは県内最大の産地で、販売実績は県内の50%を占める。

※2 部会員の延べ人数

2 生産拡大に向けた取組経過

- 昭和63年 降雹害により露地菊が全滅したことを契機にパイプハウスを導入
- 平成5年、9年 県単補助事業により大型鉄骨パイプハウス4.8haを導入
- 12~13年 県単補助事業により土壌消毒機、低温貯蔵庫を導入
- 13~14年 国庫補助事業により大型鉄骨パイプハウス1.9haを導入
- 26~27年 国庫補助事業により内張多層化施設、循環扇等を導入
- 28~29年 IPM実践産地支援事業により、赤色防虫ネット、防草シートを導入
- 令和元年 園芸大国とちぎづくり推進事業により、選花機、光合成促進機を導入
- 3~4年 燃油価格高騰対策事業セーフティネット構築事業参加 24名
- 4年 燃油価格高騰対応省エネ支援事業により、カーテン資材の機能強化や4段サーモ、環境モニタリング測定機器を導入

3 産地の特徴

- (1) 生産者による活発なPR活動
 - ・FacebookやInstagramを開設し、産地を積極的にPR
 - ・市場や仕入れ業者に向けて、毎月出荷予定品種を写真付きで掲載
- (2) 栃木県育成のりんどう「るりおとめ」の導入
 - ・りんどうは、「るりおとめ」と「るりおとめ星あかり」「るりおとめ月あかり」を栽培
- (3) マーケットインの視点に立った産地改革
 - ・市場関係者との密な情報交換、生花店等の実需者を招いた産地見学会の開催により、マーケット状況の把握に努め、品種選定等に活用
 - ・作付品種や花色のバランスの検討を行い、年間契約取引や注文に対応